

(ご参考)

■ 6月1日の救急事案

6月1日、午前9時13分頃、トヨタグループ館の待ち列で、観客（41才、男性）が倒れ、パビリオン係員がこれを発見し、協会警備隊に連絡し、救急要請を行った。

患者は意識を失い、一時心肺停止の状態となったが、協会警備隊員がAEDを搬送した。その場に居合わせた観客4名（横浜市立大学医学生）が連携してAED（全自動体外式除細動器）を使用し、程なく到着した救急隊員並びに救急医及び救急救命士に引き継がれ、心拍が再開し、自発呼吸が戻った。

その後、ドクターヘリで到着した医師が救急車に同乗し、午前9時40分、救急車にて会場外病院に搬送された。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

(財) 2005年日本国際博覧会協会 広報報道室
加藤、中田 電話0561-61-7302